

# 平成26年3月期（第17期） 第1四半期決算説明会

平成25年8月1日

## 株式会社Jストリーム

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。



## 連結決算ハイライト P/L

	26. 1Q (構成比)		増減率	25. 1Q (構成比)	
売上高	1,005,705	100%	△18.3%	1,230,905	100%
売上原価	619,478	61.6%	△21.4%	787,628	64.0%
売上総利益	386,227	38.4%	△12.9%	443,276	36.0%
販売費及び一般管理費	390,345	38.8%	△0.5%	392,438	31.9%
営業利益	△4,118	—	—	50,838	4.1%
経常利益	3,129	0.3%	△95.3%	65,913	5.4%
税金等調整前四半期純利益	33,900	3.4%	△48.6%	65,913	5.4%
四半期純利益	24,420	2.4%	△57.0%	56,792	4.6%

## 内的要因

- ◆ エンターメディア社の譲渡に伴い売上減少／粗利率には＋に作用
- ◆ 譲渡による特別利益30,770千円
- ◆ 制作受注の減少が結果的に内製率を高め粗利率改善
- ◆ 固定費負担重く営業赤字に

## 受注動向

- + ライブ需要が好調
- + 医療系業界あり
- 代理販売していた動画プラットフォームの終了に伴う落込み分を Equipmedia等受注で補いきれず

## 連結バランスシート

		26. 1Q末	主な変動要因	25. 3月期末	25. 1Q末
資産の部	流動資産	2,434,417	現預金： +254M  売掛金： ▲219M	2,388,375	2,719,950
	固定資産	769,242		757,560	797,276
	有形固定資産	276,342		252,838	270,827
	無形固定資産	337,076		332,343	338,232
	投資その他の資産	155,823		172,378	188,215
資産合計		3,203,659		3,145,936	3,517,226
負債の部	流動負債	485,632		470,490	607,905
	固定負債	113,737		96,918	120,024
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379	2,182,379	2,182,379
		資本剰余金	626,241	626,241	626,241
		利益剰余金	89,560	65,140	△67,482
		自己株式	△459,182	△459,182	△100,663
	評価・換算差額等	825	725	△292	
	少数株主持分	164,464	163,222	149,115	
	純資産合計	2,604,289	2,578,527	2,789,296	
負債・純資産合計		3,203,659		3,145,936	3,517,226

24年6月迄  
の取得分及び  
NTTPCコミュ  
ニケーションズ  
からの買取分  
+358M

(単位:千円)

◆売上げ減に伴い売掛金減少

# 連結売上原価 構成比率

	26. 1Q (構成比)		増減率	備考	25. 1Q (構成比)	
労務費	331,260	53.5%	△1.6%	人的費用の合計 518百万円 (前年度: 591百万円 対比△6.5%)  連結従業員数 304名 (前年度:318名)  個別従業員数 (子会社への 出向者除) 189名 (前年度:188名)	336,594	42.7%
外注費	144,730	23.4%	△29.9%		206,367	26.2%
通信費	71,350	11.5%	△8.3%		77,838	9.9%
業務委託手数料	42,583	6.9%	△36.1%		47,612	6.0%
地代家賃	23,362	3.8%	+12.7%		20,723	2.6%
保守料	17,761	2.9%	+5.3%		16,860	2.1%
ソフトウェア償却	17,306	2.8%	+15.6%		14,974	1.9%
賃借料	12,273	2.0%	△9.3%		13,533	1.7%
減価償却費	10,072	1.6%	△20.0%		12,583	1.6%
ロイヤリティ	9,242	1.5%	△83.0%		54,454	6.9%
その他及び 他勘定振替	△60,461	—	—		△13,910	—
売上原価合計	619,478		△21.4%	787,628	前年比 +2.3%	

- ◆ 子会社売却により120百万円程度原価減少
- ◆ 制作の売上減少に伴い外注費が大幅減少

(※26年3月期第1四半期連結累計  
期間構成比率順 単位:千円)

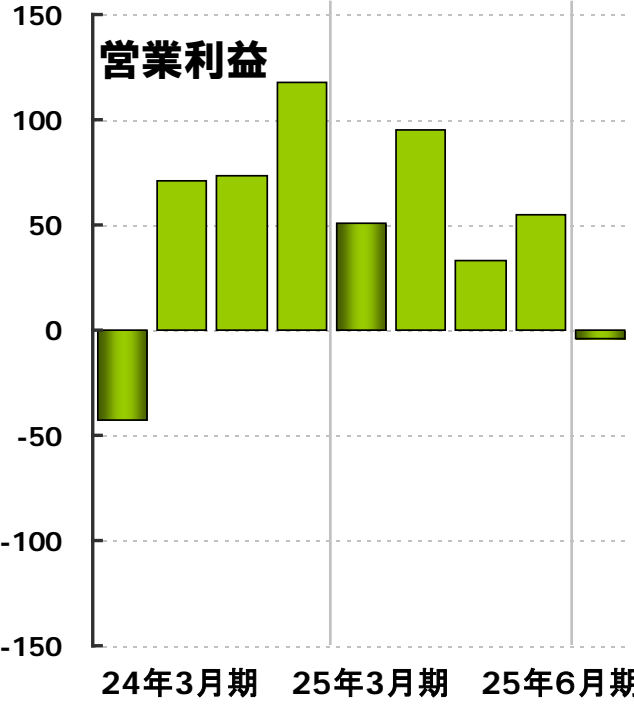
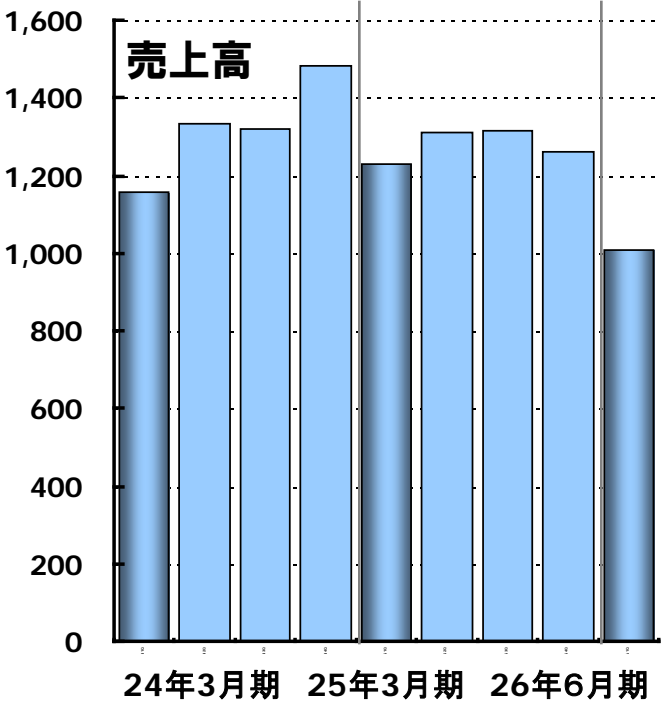
# 販売費及び一般管理費主要項目（連結）

	26. 1Q (構成比)		増減率	備考	25. 1Q (構成比)	
人件費	202,053	51.8%	△7.7%	子会社営業強化	218,908	55.8%
販売支援費	41,432	10.6%	11.6%		37,112	9.5%
地代家賃	17,734	4.5%	23.8%	イベント出展等活動を強化	14,329	3.7%
販売促進費・広告宣伝費	15,127	3.9%	23.2%		12,280	3.1%
研究開発費	13,565	3.5%	53.9%		8,812	2.2%
業務委託手数料	11,299	2.9%	14.5%		9,868	2.5%
支払手数料	11,468	2.9%	22.8%		14,857	3.8%
システム管理費	11,240	2.9%	11.1%		10,113	2.6%
旅費交通費	8,944	2.3%	7.8%		9,698	2.5%
株式関係費	8,323	2.1%	△7.4%		8,984	2.3%
その他(求人費、雑費等)	49,160	12.6%	—		47,471	12.0%
販売費及び一般管理費合計	390,345		△0.5%			392,438

◆ 本社と子会社譲渡に伴う減員で人件費減

(※26年3月期第1四半期連結累計  
期間構成比率順 単位:千円)

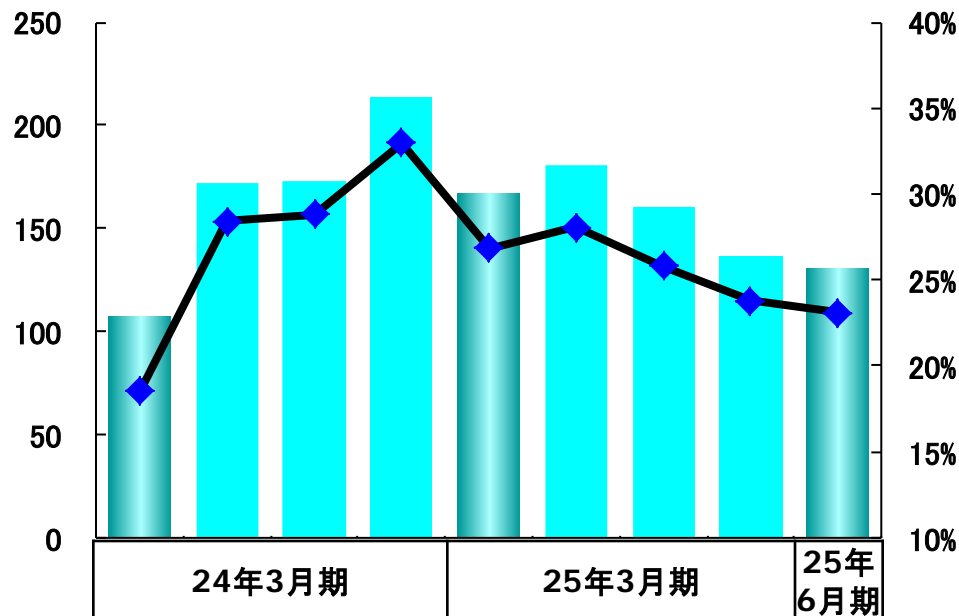
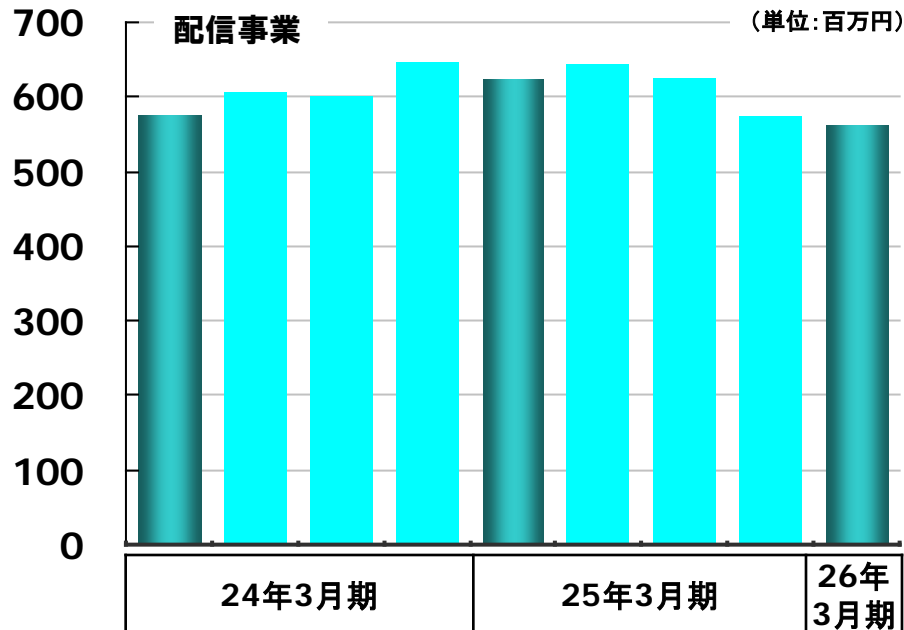
# 四半期別売上、利益推移(連結)



- ◆ エンターメディア社  
売却分の影響を除いても15、16期1Q対比  
売上減。
- ◆ 制作系連結子会社も  
低調となり連結赤字  
計上。

	24.1Q	24.2Q	24.3Q	24.4Q	25.1Q	25.2Q	25.3Q	25.4Q	26.1Q
売上高	1,156	1,333	1,319	1,482	1,230	1,311	1,315	1,259	1,005
営業利益	△43	71	73	117	50	95	33	54	△4
純利益	△53	66	63	83	56	68	13	50	24
売上高	2,489		2,801		2,542		2,674		
営業利益	28		191		145		87		
純利益	12		146		125		63		

# セグメント売上・営業利益状況：配信事業

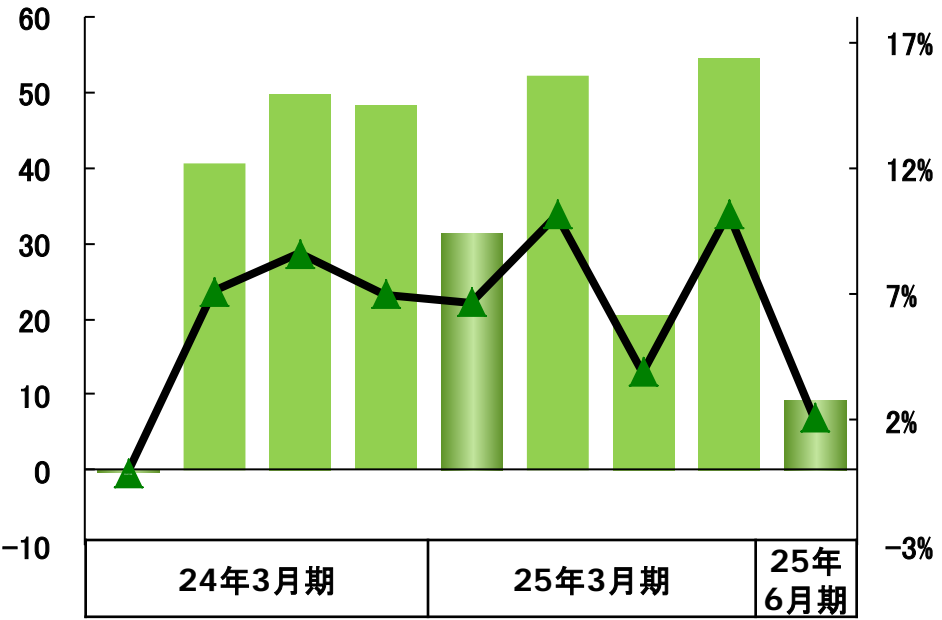
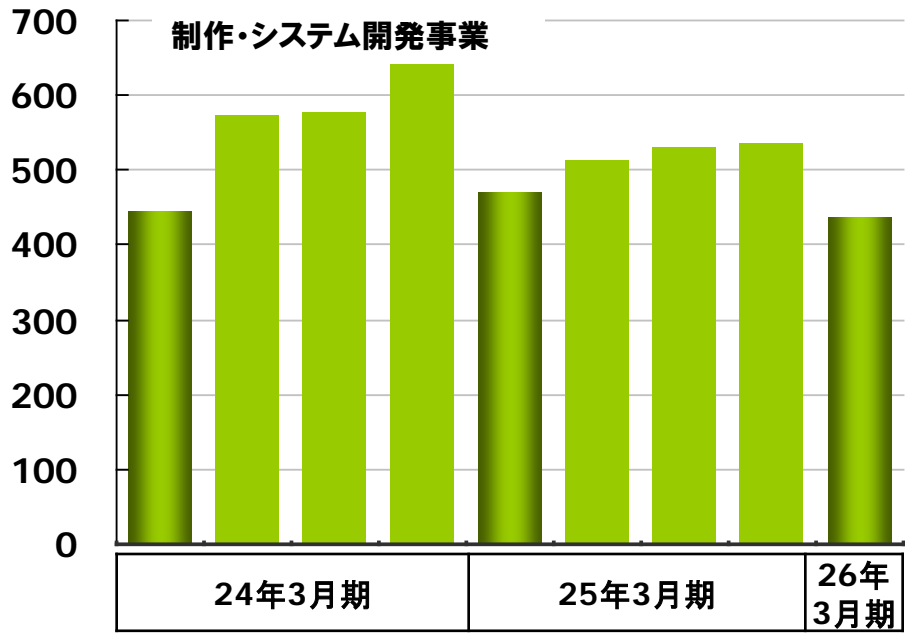


	24.1Q	24.2Q	24.3Q	24.4Q	25.1Q	25.2Q	25.3Q	25.4Q	26.1Q
配信	576	605	600	646	623	643	624	574	563
	107	172	173	213	167	180	160	136	130
	18.6%	28.4%	28.8%	33.0%	26.8%	28.1%	25.8%	23.8%	23.1%

◆ 前期に引き続きライブ案件が好調であったが、売上増に貢献。Brightcove 関連のアプリケーション売り上げ減少の影響が大きい。

◆ オンデマンド配信サービスを基本機能の優れた Equipmediaへ切り替え、新規顧客獲得を図る。

# セグメント売上・営業利益状況：制作・システム開発事業

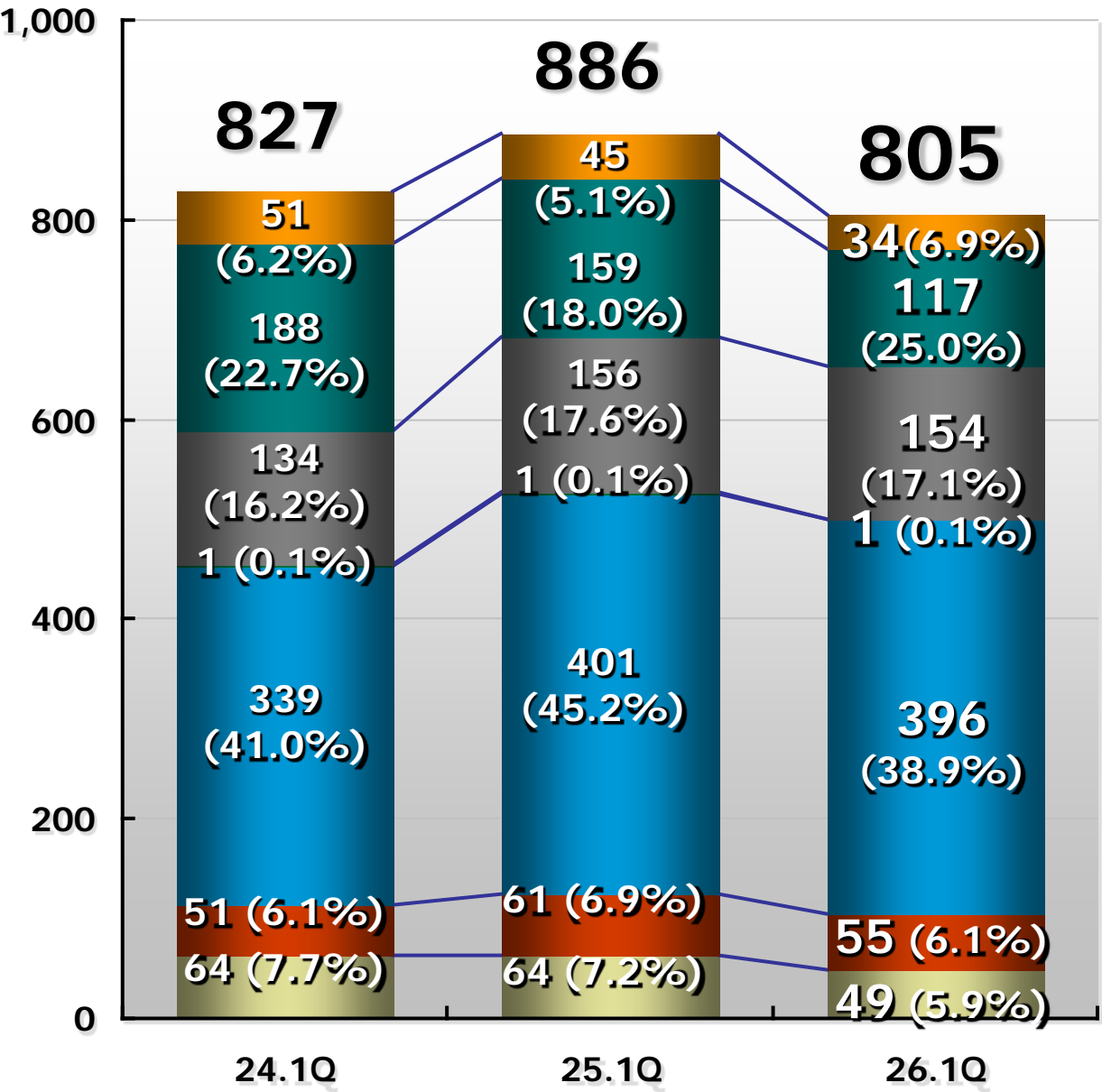


	24.1Q	24.2Q	24.3Q	24.4Q	25.1Q	25.2Q	25.3Q	25.4Q	26.1Q
制作	445	571	578	691	470	513	530	536	438
	△0	40	49	48	31	52	20	54	9
	△0.1	7.1%	8.6%	7.0%	6.7%	10.2%	3.9%	10.2%	2.1%

◆ **本体、映像制作子会社ともに大口案件が不足しており受注停滞。Brightcove提供終了に伴って関連制作が減少したことも影響。**



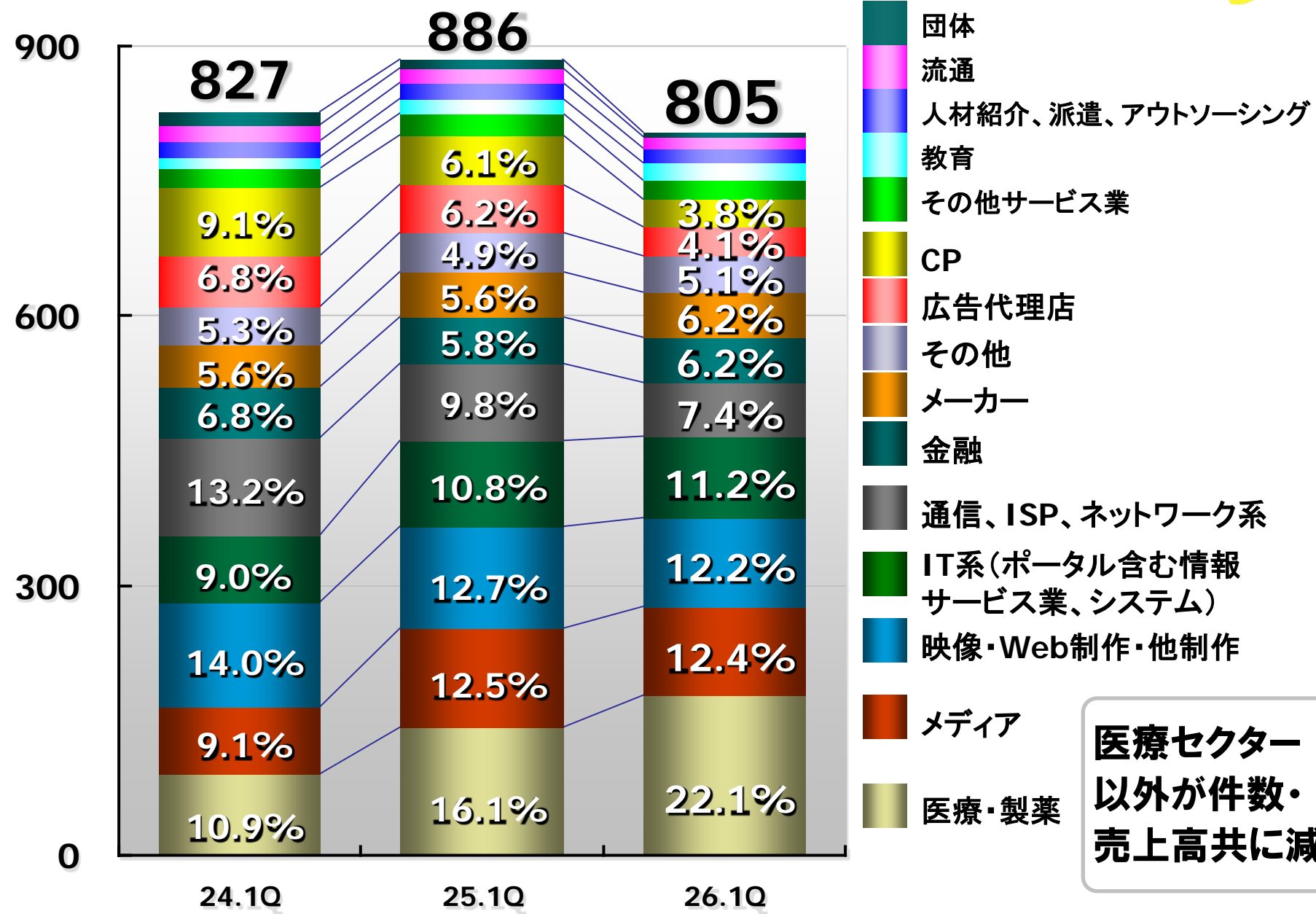
# 用途別売上比率 (個別)



### 増減率

その他	△24.8%
エンターテインメント (音楽/映画/娯楽/スポーツ)	△26.2%
番組/放送局	△1.7%
ストリーミング広告	△24.7%
販促 (商品紹介/CM/セミナー/イベント)	△1.2%
採用/教育/研修	△9.2%
会社案内/IR	△23.6%

# 業種別売上比率（個別）



**医療セクター以外が件数・売上高共に減少**

# 設備投資状況

	投資項目	実施額 (年間予定額)
<p><b>26年 3月期</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>配信事業関連</b>                      新サービス関連、                      サーバー増設・リプレース、                      その他サービス改善のための投資                      運用系システム開発、IPv6対応設備導入 等</li> <li>■ <b>制作・システム開発事業関連</b>                      キャプチャー・ファイルサーバーシステム、                      エンコーダー 等</li> <li>■ <b>その他(管理系含む)</b>                      会計系システム、人事系システム、                      業務支援システム</li> </ul>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>92</b></p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>(339)</b></p>

◆ 1Q実施分はほとんどがEquipmedia等の新サービスとサーバー関連。

◆ 期中に新会計系システムを導入予定

# 最近のトピックス

もっと素敵な伝え方を。



# 最近のトピックス

## ◆ 医師を対象にした調査を実施

8割以上の医師が、インターネット動画ライブ講演会は処方に好影響と認識

動画を活用した「インターネットライブ講演会」の有効性に関して、日本全国の医師にアンケート調査を実施しました。

### ■ 薬剤の処方意向

8割の医師が、インターネットライブ講演会は処方に好影響をあたえると回答、前年比でも1割程度増加

### ■ インターネットライブとリアル講演会を視聴した上での処方意向への影響を比較

リアル講演会の影響度(92.0%)に対しインターネットライブが86.0%となり、講演会形式による大きな差異はみられなかった。

## ◆ 10万アクセスまで固定額での大規模動画ライブ配信を開始

P2P技術を利用した「大規模ライブ配信サービスオプション」の提供を開始

エンタメ系ライブでの予想外のアクセス集中などによる予算超過に対する解決策。

## ◆ メインデータセンターの移転が完了

都内所在のデータセンターを移転。容量の拡大と効率化を同時に実現。

# 26年3月期 経営基本方針

もっと素敵な伝え方を。



## クロスデバイスに対応した 動画配信支援サービスを充実させ 事業の継続的成長を実現する

### <重点領域>

- ◆ Equipmedia、CDN、ライブ、スマートフォン
- ◆ 受託制作、映像制作
- ◆ 新規顧客開拓に注力

**付加価値の高いサービス提供と  
顧客数拡大を狙う。**

**そのために必要な事業資産を整備し、  
基盤を確立する1年目とする。**

**【営業】新規・大型案件を伸長させる体制変更を行い  
社数アップと単価アップを狙う**

**【サービス開発】Equipmediaの充実とリアルタイム  
コミュニケーション機能の強化**

**【制作】制作能力を強化し高度な案件への対応能力を  
高めるとともに来るべき大量生産への道筋をつける**



# 重点領域

## 【配信部門】

### サービス強化

- ◆ Equipmedia、NewOVP
- ◆ リアルタイムコミュニケーション（ライブ+α）
- ◆ スマートデバイス
- ◆ ネットワーク再編成
- ◆ CDN

## 【制作・システム開発部門】

### 収益確保と品質・スキルの向上

- ◆ 対応能力の向上
- ◆ 制作提案による案件獲得

## 【営業部門】

### 量と質の両面の確保

- ◆ 新規顧客開拓に注力（プラットフォーム活用）
- ◆ 高付加価値分野へ特化するチーム設置

## 【全社・管理系】

- ◆ 決算の早期化
- ◆ コンプライアンス支援体制
- ◆ 働きやすい環境の整備
- ◆ 組織、評価、キャリアパス等への配慮
- ◆ 危機管理体制（社員を守る）

# 今年度の販売戦略

◆ Equipmediaを中心に多くの顧客を獲得し、将来の業容拡大のベースとする（低単価でも社数増を重視）

◆ ターゲット：全方位（接触できていない企業がまだまだ多いと認識）

- 新規獲得を優先（新規専任部門設置）。  
競合サービスからのリプレースにも注力。

## ◆ ソリューション営業

### ■ メディア／コンテンツビジネス分野

- 戦略的に大型開発や受託案件での長期契約の獲得を図る
- 動画広告市場や動画利用メディアの顧客増大に対応

### ■ ビジネス分野

- 内外のコーポレートコミュニケーション領域での動画利用拡大をターゲットとする
- 医療分野を更に開拓、医薬、採用、セミナー等のライブの継続需要を確保
- 学校法人、企業内教育分野へチャレンジ
- コマース分野での動画利用促進

# 業績予想

もっと素敵な伝え方を。



# 26年3月期 通期連結業績予想

	平成26年3月期		
	1Q実績	通期予想	進捗率
売上高	1,005	4,600	21.9%
営業利益	△4	250	—
経常利益	3	275	1.1%
当期純利益	24	230	10.6%

# 説明内容についてのお問合せ先

## 決算説明内容についてのお問い合わせは

### 【メール】

<http://www.stream.co.jp/contact/ir/privacy/>  
(お問い合わせフォーム)

### 【電話】

電話 03-5765-7744 (総務部広報IR課)

よりお寄せください。